SANWA SUPPLY モバイルワイヤレスレーザーマウス取扱説明書

MA-LSW12シリーズ

最初にご確認ください

セット内容

- ●マウス本体 ……1台
- ●直付けレシーバー …1台
- ●ドライバソフト（Windows用CD）……1枚
- ●単四乾電池（テスト用）…2本
- ●取扱説明書 ……1部

本取扱い説明書の内容は、予告なしに変更になる場合があります。
最新の情報は、弊社Web(http://www.sanwa.co.jp/)をご覧ください。

デザイン及び仕様については改良のため予告なしに変更することがございます。
本書に記載の社名及び製品名は各社の商標又は登録商標です。

サンワサプライ株式会社

目　次

1 ●モバイルワイヤレスレーザーマウスの接続手順
●特長
2 ●安全に使用していただくために
●警告
●健康に関する注意
●対応機種・対応OS
3 ●接続する前にお読みください。
●マウスの準備（電池の入れ方、電源のON・OFF）
4 ●マウスをパソコンに接続します
6 ●IDの設定方法
7 ●ドライバソフトをインストールする前にお読みください。
10 ●ドライバソフトのインストール
12 ●本製品の使用方法
●ドライバソフトの特長
18 ●「故障かな…と思ったら」

保証規定

1）保証期間内に正常な使用状態でご使用の場合に限り品質を保証しております。万一保証期間内で故障がありました場合は、当社所定の方法で無償修理いたしますので、保証書を商品に添えてお買い上げの販売店までお持ちください。
2）次のような場合は保証期間内でも有償修理になります。
①保証書をご提示いただけない場合。
②所定の項目をご記入いただけない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
③故障の原因が取り扱い上の不注意による場合。
④お客様による輸送・移動中の衝撃による場合。
⑤天変地異、ならびに公害や異常電圧その他の外部要因による故障及び損傷。
3）お客様ご自身による改造または修理があったと判断された場合は、保証期間内での修理もお受けいたしかねます。
4）本製品の故障、またはその使用によって生じた直接、間接の損害については当社はその責を負わないものとします。
5）修理ご依頼品を郵送、またはご持参される場合の諸費用は、お客様のご負担となります。
6）保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
7）保証書は日本国内においてのみ有効です。

最新の情報はインターネットで!! http://www.sanwa.co.jp/

- ■サポート情報
- ■ドライバのダウンロード
- ■よくある質問（Q&A）
- ■各種対応表　など、最新情報を随時更新しています。

ご質問、ご不明な点などがございましたら、
ぜひ一度、弊社ウェブサイトをご覧ください。

本取扱い説明書の内容は、予告なしに変更になる場合があります。
最新の情報は、弊社Web(http://www.sanwa.co.jp/)をご覧ください。

サンワサプライ株式会社

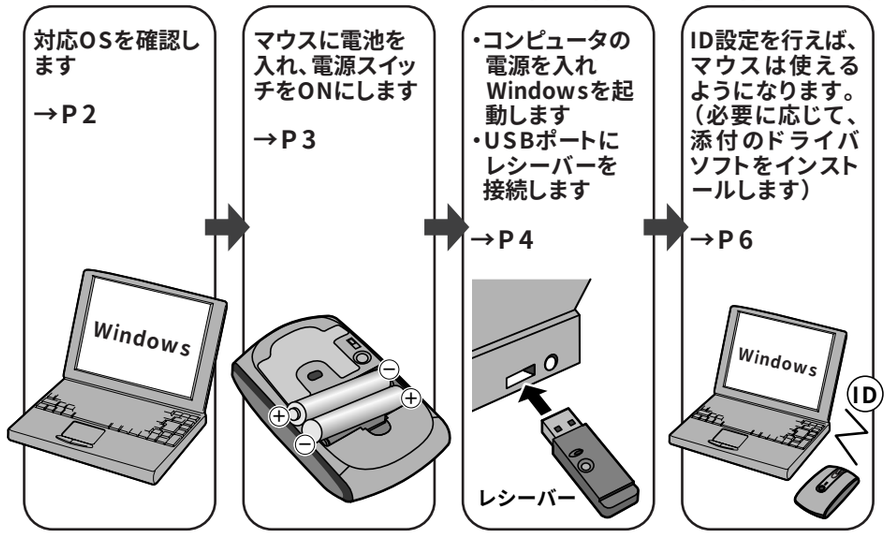
2007.5

岡山サプライセンター／〒700-0825 岡山市田町1-10-1 ☎086-223-3311 FAX.086-223-5123
東京サプライセンター／〒140-8566 東京都品川区南大井6-5-8 ☎03-5763-0011 FAX.03-5763-0033
札幌営業所/〒060-0807 札幌市北区北7条西5丁目ストークマンション札幌 ☎011-611-3450 FAX.011-716-8990
仙台営業所/〒983-0851 仙台市宮城野区榴岡1-6-37宝栄仙台ビル ☎022-257-4638 FAX.022-257-4633
名古屋営業所/〒453-0015 名古屋市中村区椿町16-7カジヤマビル ☎052-453-2031 FAX.052-453-2033
大阪営業所/〒532-0003 大阪市淀川区宮原4-1-45新大阪八千代ビル ☎06-6395-5310 FAX.06-6395-5315
福岡営業所/〒812-0012 福岡市博多区博多駅中央街8-20第2博多相互ビル ☎092-471-6721 FAX.092-471-8078
金沢 ☎076-222-8384

07/05/SNDaC

モバイルワイヤレスレーザーマウスの接続手順

詳細は各ページをご覧ください。



特長

この度は、モバイルワイヤレスレーザーマウスをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品は2.4GHz RF方式のワイヤレスマウスですので、入力操作の際ケーブルが邪魔になるといった煩わしさがなく、快適な環境でのコンピュータ操作が可能となります。本製品は、高性能レーザーエンジンを搭載した次世代のマウスです。光学センサーでは識別しにくかった光沢感のある素材の表面を読取ることが可能で、様々なシーンで威力を発揮します。本製品は専用ドライバをインストールすることにより、ホイールボタン（スクロールボタン）を左右に傾けるだけで、横スクロールが可能なホイールコントロール機能を持っています。また、スクロールボタンを回転・クリックするだけで簡単に画面スクロールが行えます。本製品は、使うシーンに合わせてカーソルスピードを800カウント、1600カウントに簡単切替が可能です。

※ご使用前にこのマニュアルをよくお読みください。また、お手元に置き、いつでも確認できるようにしておいてください。

安全にご使用していただくために

本製品は、IEC60825-1 Edition 1.2-2001、JIS規格クラス1レーザープロダクトに準拠しています。本製品は通常の使用においては、きわめて安全ですが、使用上の注意を守って正しくお使いください。

●レーザーセンサー穴をずっと見たり、他人の目に向けないでください。
●製品を分解したり、改造したりしないでください。
●0℃～40℃の気温環境でお使いください。
●本製品に衝撃を加えないようにしてください。
●保証規定をよく読み正しくお使いください。

警告

■テレビ・ラジオの受信障害について

本製品は、FCCの定めるクラスBのコンピュータ機器に対する許容条件につき、所定の審査の上、FCC-15章の規定内容に適合するものとして認定されています。FCC-15章は居住環境において防止すべき受信障害の規制基準を定めたものですが、装置の設置状況によっては受信障害が発生する場合があります。

ご使用のコンピュータシステムが受信障害の原因となっているかどうかは、そのシステムの電源を切ることでご確認いただけます。電源を切ることにより受信障害が解消されれば、ご利用のコンピュータ、あるいは、その周辺装置が原因であると考えられます。

ご使用のコンピュータシステムがテレビやラジオの受信状態に影響している場合、以下の手順のいずれか、あるいはいくつかを組み合わせてお試しください。

●テレビまたはラジオのアンテナの向きを変え、受信障害の発生しない位置を探してみてください。
●テレビまたはラジオから離れた場所にコンピュータを設定し直してください。
●テレビまたはラジオとは別の電源供給路にあるコンセントにコンピュータを接続してください。
●状況に応じ、テレビ・ラジオの修理業者またはマウスの販売店にもご相談いただけます。

■注　意

本製品に対し許可しない変更または加工が加えられた場合、FCCの許可が無効となり、正規の製品としての使用は認められませんのでご注意ください。

健康に関する注意

マウスやトラックボール、キーボードを長時間操作すると、手や腕や首、肩などに負担が掛かり痛みや痺れを感じることがあります。そのまま操作を繰り返していると、場合によっては深刻な障害を引き起こす恐れがあります。マウスやキーボードを操作中に身体に痛みや痺れを感じたら、直ちに操作を中止し、場合によっては医師に相談してください。また日常のコンピュータ操作では定期的に休憩を取り、手や腕や首、肩など身体に負担が掛からないように心がけてください。

対応機種・OS

■対応機種

●Windows搭載パソコン、各社DOS/Vパソコン、NEC PC98-NXシリーズ
※USBポート（Aタイプコネクタ）を持つ機種

■対応OS

●Windows Vista・XP・2000・Me・98SE・98

※機種により対応できないものもあります。
※この文章中に表記されるその他すべての製品名などは、それぞれのメーカーの登録商標、商標です。

接続する前に必ずお読みください。

■本製品をUSBポート接続する際の注意

本製品はWindowsにおいて自動認識され使用可能となります。本製品が正常に動作しない場合は、USBインターフェイスが正常に動作しているかどうかをチェックしてください。
「スタート」→「設定(S)」→「コントロールパネル(C)」→「システム」の順に選択し、「デバイスマネージャ」タブをクリックしてください。「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」の項を展開します。USBインターフェイスが正常に動作していれば、右のような画面が表示されます。

USBデバイスアイコンに「!」マークが表示されていたり、もしくは「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」のデバイスがなにも見つからない場合、マザーボードのBIOSのアップグレードや、BIOSの設定をご確認ください。初期状態ではUSBポートの使用が不可に設定されている機種もあります。

※「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」のベンダー名、デバイス名はマザーボードによって異なることがあります。表示がIntel（インテル社）以外の場合もありますので、詳しくは本体（マザーボード）メーカーのサポートにお問い合わせください。

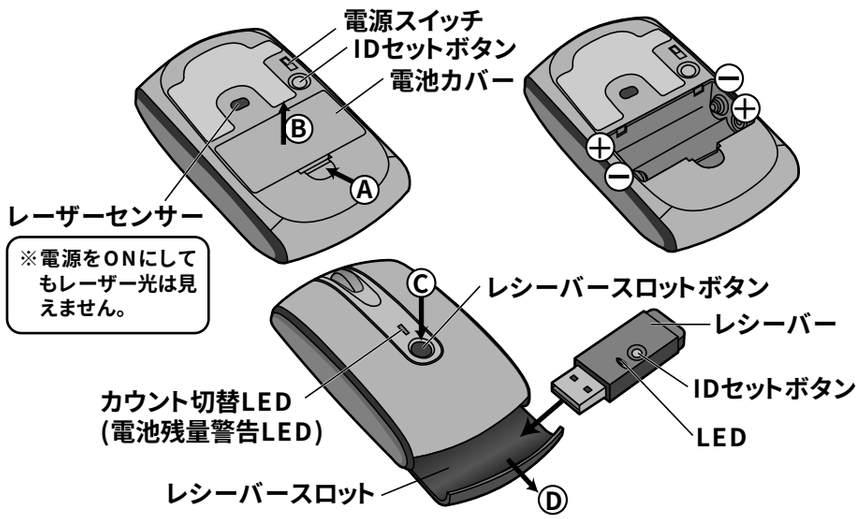
■BIOS上でUSBがdisable（ディセーブル=無効）になっている場合

●BIOS上のUSBをenable（イネーブル=有効）にしてください。BIOS設定画面はコンピュータ起動時にF1かF2を押して表示させるものが多いですが、詳細な方法等については、コンピュータ本体のマニュアルをご覧ください。

マウスの準備（電池の入れ方、電源のON・OFF）

1.マウス裏面の電池カバーを（Ⓐ）方向に押しながら（Ⓑ）方向に持上げ、取外します。
2.付属の単四電池をマウスに入れます。※正しい極性で入れてください。
3.電池カバーを、取り外したときと逆の手順で閉じます。
4.マウス裏面の電源スイッチをONにします。
5.レシーバーを収納する際は、マウス上部のレシーバースロットボタンを押して（Ⓒ）、レシーバースロットを開きます（Ⓓ）。レシーバーをレシーバースロットにきちっと納めて、スロットを閉じてください。
※レーザーセンサーを使用しているため、光学センサーを使用しているマウスのようにセンサー部分は発光しません。
※長時間マウスを使用しない場合やマウスを持ち歩く際などにレーザーセンサーが作動していると、電池が消耗しますので、電源をOFFにすることをお薦めします。
※マウスを動かしている際、電池残量警告LEDが点灯したら、電池が少なくなっていますので、すみやかに交換してください。電池交換の際は、単四アルカリ乾電池をご使用ください。（付属の電池は、テスト用ですので、電池寿命は短くなります。）

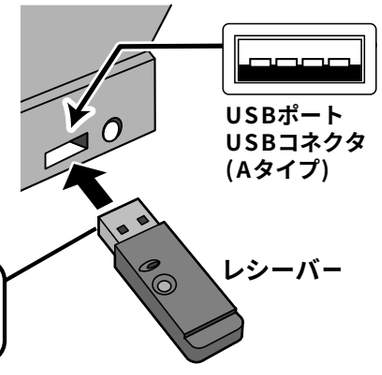
マウスの準備（電源のON・OFF続き）



マウスをパソコンに接続します

■レシーバーの接続

①コンピュータの電源を入れ、Windowsを完全に起動します。
レシーバーを接続する前に他のアプリケーション(ウィルス検索ソフトなどの常駐ファイル)を終了させておくことをお薦めします。
②レシーバーをコンピュータのUSBポートに接続します。



※レシーバーには上下がありますので、USBポートの上下を確認して接続してください。

③自動的にハードウェアの検知が始まり、デスクドライバを更新するためのウィザードが起動します。

〈Windows VIstaの場合〉
タスクバーに「デバイスドライバソフトウェアをインストールしています。」「USBヒューマンインターフェイスデバイス」と表示されて、自動的にインストールが完了します。

〈Windows XP･2000･Meの場合〉
タスクバーに「新しいハードウェアが見つかりました。」「使用できる準備ができました。」と表示されて、自動的にインストールが完了します。

マウスをパソコンに接続します（続き）

〈Windows 98・98SEの場合〉

新しいハードウェアの追加ウィザードが表示されます。

※Windows98SE・98では、下記の作業が発生しますので、デスクトップパソコンの方はキーボード（もしくは他のマウス）が接続されている状態で行ってください。

●新しいドライバを検索しています。
USBヒューマンインターフェイスデバイス
------- 次へ〉

●検索方法を選択してください。
◉使用中のデバイスに最適なドライバを検索する（推奨） ------- 次へ〉

●新しいドライバはハードドライブのデータベースと、次の選択した場所から検索されます。
チェックボックスにチェックマーク（☑）を入れずに ------- 次へ〉
もし、検索場所を聞いてきたら、
☑ 検索場所の設定（L）

C:\WINDOWS\INF ▼ ※

もしくは、
C:\WINDOWS\OPTIONS\CABS
※もし、上記の検索場所でドライバが見つからない場合は、CD-ROMドライブにWindows OSのCD-ROM（パソコン購入時に同梱）を挿入し、☑CD-ROMドライブ（C）にチェックを付けてください。

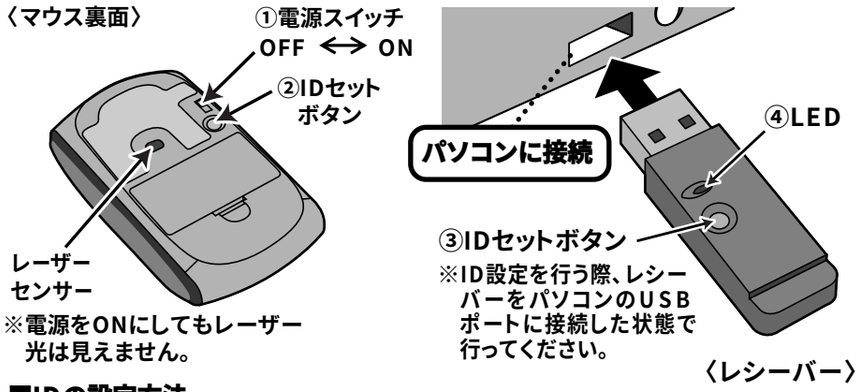
●次のデバイス用のドライバファイルを検索します。
USBヒューマンインターフェイス
デバイス ------- 次へ〉

●USBヒューマンインターフェイス
デバイス------- 完了

IDの設定方法

※重要（必ずお読みください）

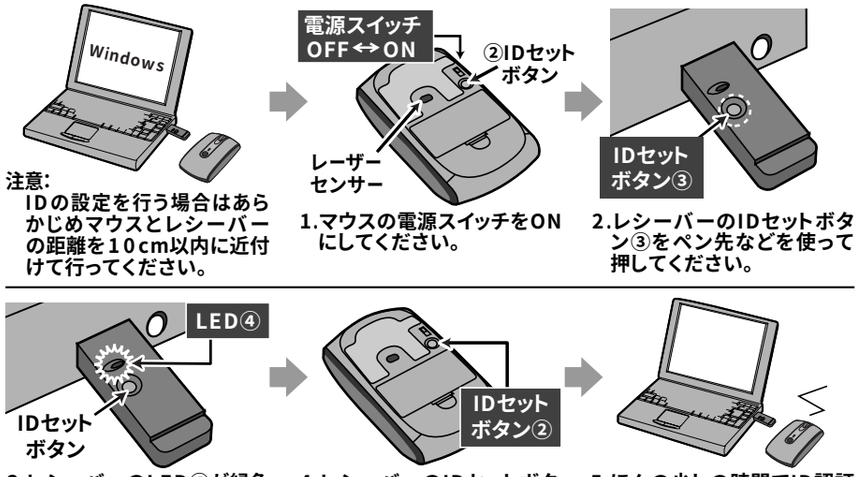
レシーバーの接続が完了したら、マウスを動かしてみてください。これでマウスが使える場合は、ID設定を行う必要はありませんが、マウスが使えない場合は下記の手順でID設定を行ってください。もし、動作がスムーズでなかったり、また近い環境で本製品を2台以上お使いの場合は、下記の手順に従ってID設定を行ってください。また、付属の電池はテスト用ですので電池寿命が短くなっています。ご購入後まもなくマウスが動作しなくなった場合は、IDの再設定とともに、電池交換もご検討ください。



※電源をONにしてもレーザー光は見えません。

※ID設定を行う際、レシーバーをパソコンのUSBポートに接続した状態で行ってください。

■IDの設定方法



注意：
IDの設定を行う場合はあらかじめマウスとレシーバーの距離を10cm以内に近付けて行ってください。

1.マウスの電源スイッチをONにしてください。

2.レシーバーのIDセットボタン③をペン先などを使って押してください。

3.レシーバーのLED④が緑色に点滅します。
※レシーバーのIDセットボタン③を押してLED④が点滅しない場合は、レシーバーを1度パソコンのUSBポートから取り外し、接続し直して2番からやり直してください。

4.レシーバーのIDセットボタンを押して、点滅が始まってから10秒以内にマウス裏面のIDセットボタン②を1回だけ強く押してすぐに離してください。

5.ほんの少しの時間でID認証が行われレシーバーのLEDが消灯します。マウスを動かしてカーソルが動けばIDの設定は完了です。（レシーバーのLED④もマウスの動きに合わせて点灯します）
※カーソルが動かない場合は、マウスの電源スイッチをOFFにし、再度電源スイッチをONにして2～5番までの手順を繰り返してみてください。

IDの設定方法（続き）

※上記設定を行ってもマウスが動作しない場合は、電池が正しく入っているか確認してください。
※ID番号は65536通り（チャンネルは16通り）あり、自動的に設定されます。2台以上のマウスを有効使用範囲内でご使用の際に、マウスの動きがスムーズでないといった場合には、このID設定を再度行ってください。ただし、同時に2台以上のマウスのID設定を行わないでください。
※パソコンの電源を立ち上げ直した場合、もしくはマウスの電源スイッチをON・OFFした場合でも、この設定を再度行う必要はありません。ただし、長時間放置した後など、マウスを動かしてもレシーバーのLEDが点灯しなくなった場合は上記の設定をやり直してください。

ドライバソフトをインストールする前にお読みください。

※重要（必ずお読みください）

本製品に添付のドライバソフトがインストールされていない状態でも、マウスの基本的な機能は使えます。横スクロール機能、ボタン割付け等の特別な機能を使う場合、添付のドライバソフトのインストールが必要になります。

■内蔵ポインティングデバイス用ユーティリティの切り離し

本製品添付のドライバは、各社PCにあらかじめインストールされている内蔵ポインティングデバイス用のユーティリティと併用できません。ユーティリティを切り離しするか、添付ドライバをインストールなさらずにお使いください。
各ユーティリティによって切り離し方法が異なります。下記をご覧ください。

●NEC PC98-NXシリーズ・富士通 FMV-BIBLOシリーズ・ソニー VAIOシリーズの場合
デバイスマネージャ→マウスでNXPADあるいは「Alps GlidePoint」を「標準PS/2マウス」あるいは「Microsoft PS/2 Mouse」にドライバを更新してください。
途中「このデバイスに適していない……」とエラー表示される場合がありますが、そのまま進めてください。
●東芝 Dynabookシリーズ・SHARP Mebiusシリーズの場合
アプリケーションの追加と削除より「マウスウェア」をアンインストールしてください。
●IBM ThinkPadシリーズの場合
アプリケーションの追加と削除より「IBM Trackpoint」をアンインストールしてください。
●Compaq Armadaシリーズの場合
アプリケーションの追加と削除より「Synaptics TouchPad」をアンインストールしてください。その後デバイスマネージャ→マウスで「Synaptics TouchPad」を「標準PS/2マウス」あるいは「Microsoft PS/2 Mouse」にドライバを更新してください。
途中「このデバイスに適していない……」とエラー表示される場合がありますが、そのまま進めてください。

③例) NEC PC98-NXの場合

NEC PC98-NXにマウスを接続すると

●スクロールが動作しない。
●カーソルのスピードを変更しても、再起動すると元に戻ってしまう。
●スクロールの設定ができない。
●コントロールパネルのマウスが開かない。

などの症状が発生することがあります。
これは、タッチパッドのユーティリティの影響です。

ドライバソフトをインストールする前にお読みください。（続き）

■<回避方法>

WindowsXPでのマウスドライバの変更方法を示します。ここではNX　PADを標準PS/2ポートマウスに変更する手順を例に取ります。**CD-ROMやフロッピーディスク、インターネットから内蔵ポインティングデバイス用ドライバソフトをインストールされている場合は、この手順を行わないでください。**

①タッチパッドをユーティリティで「使用しない」にしている場合は「使用する」に変更してください。
②以下の要領でドライバの更新を行います。

下記はWindows XPでの一例です。OSや機種により多少画面表示が異なりますが、設定方法はほぼ同じです。

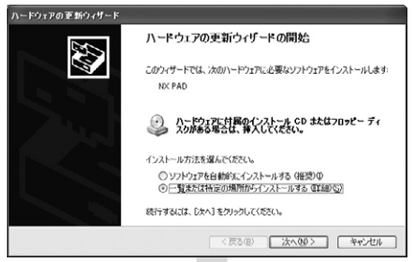
①デバイスマネージャを開きます。
コントロールパネルからシステムのプロパティを開くか、マイコンピュータのプロパティを開き、「デバイスマネージャ」タブをクリックします。

②マウスドライバのプロパティを開きます。
ここではNX PADをダブルクリックします。

③ドライバのタブをクリックし、続けて「ドライバの更新」のボタンをクリックします。

（裏面へ続く）

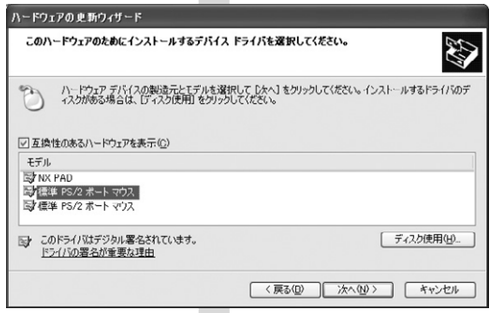
ドライバソフトをインストールする前にお読みください。（続き）



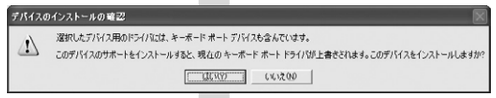
④左の画面が出たら「ドライバの場所を指定する」にチェックして「次へ」をクリックします。

⑤ここでは左のラジオボタンを選択し、「次へ」をクリックします。
上を選択すると、選択肢に求めるデバイスが出てこない場合があります。

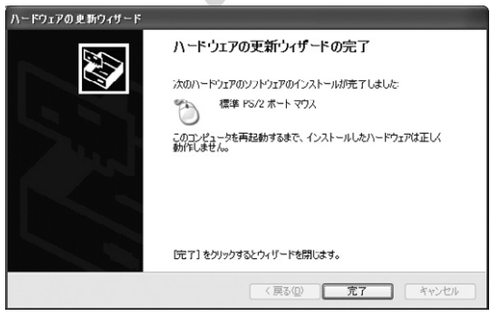
⑥ここで求めるデバイスが出てくれば、選択して「次へ」をクリックします。求めるデバイスが見つからない場合、下のラジオボタンを押して⑦に進みます。



⑦左の画面が出たら「次へ」をクリックします。
ドライバのインストールが行われます。Windows XPのCD-ROMを要求された場合は画面の指示にしたがって入れてください。



⑧左のようなメッセージダイアログが表示されることがあります。
「はい」をクリックしてください。



⑨左の画面が出たら「完了」をクリックします。

以上で前準備は終わりです。添付のドライバソフトのインストールを開始してください。

ドライバソフトのインストール

ドライバソフトのインストールは、他のアプリケーション等をすべて終了させてから行ってください。

①Windowsを完全に起動させ、付属のドライバディスクをCD-ROMドライブにセットしてください。
②インストーラが自動的に起動し、以下のような画面が表示されます。

〈Windows VIsta･XP･2000の場合〉

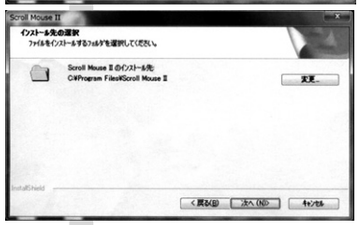
※インストールを中断する場合は「終了」をクリックしてください。
※インストーラが自動的に起動しない場合は「スタート」→「ファイル名を指定して実行（R）」で名前（O）:

E:\Setup.exe ▼

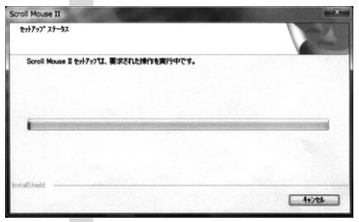
と入力していただくと、インストーラが起動します。（CD-ROMドライブがEドライブの場合）

③「Setup.exeの実行」を選択し、実行してください。（Windows XP･2000の場合は表示されません。）

④Scroll Mouse II セットアップへようこそ
-------次へ(N)〉



⑤インストール先の選択
-------次へ(N)〉



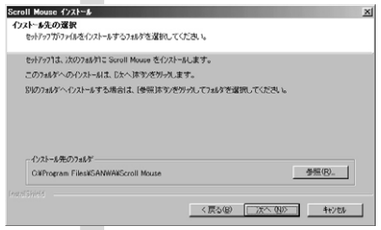
⑥セットアップステータスが表示され、インストールが実行されます。

⑦Install Shield Wizardの完了
◉はい、今すぐコンピュータを再起動します。
-------完了〉

ドライバソフトのインストール（続き）

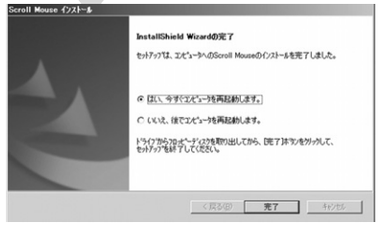
〈Windows Me･98SE･98の場合〉

③Scroll Mouse用InstallShieldウィザードへようこそ
…… 次へ(N)＞



④インストール先の選択
……C:¥ Program Files¥SANWA¥Scroll Mouse の状態で、次へ(N)＞

⑤プログラムフォルダの選択
……「Scroll Mouse」の状態で、次へ(N)＞



⑥InstallShieldウィザードの完了
……「はい、直ちにコンピューターを再起動します。」を選択して、終了。

本製品の使用方法

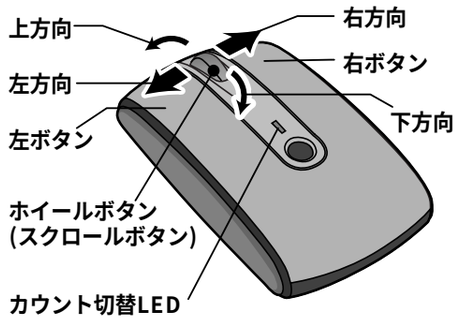
本製品はホイールボタン（スクロールボタン）を左右に傾けるだけで、横スクロールが可能なホイールコントロール機能を持っています。またスクロールボタンを回転、クリックするだけで簡単に画面スクロールが行えますので、スクロールバーを頻繁に動かす表計算等で威力を発揮します。

■左ボタン・右ボタン
左ボタンには通常クリック、ダブルクリックに使われます。また右ボタンはWindowsでのアプリケーションごとに設定されているマウスの動きも行いますし、またポップアップメニューの表示もすることができます。

本製品の使用方法（続き）

■ホイールボタン(スクロールボタン)
インターネットやWindows上のドキュメント画面をスクロールさせる際、このホイールを左右に傾け横スクロールを前後に回転させて上下スクロールを可能にします。

■スクロールモード
インターネットやWindows上のドキュメント画面でスクロールモードを使用する際、このボタンをクリックしマウスを前後左右に少し動かすと自動的に画面がスクロールします。このスクロールを止めるには、ホイールボタンをもう一度押してください。



■ズーム
ズームはMicrosoft IntelliMouse の通常機能ですので、MS-OFFICE 97用のアプリケーションに対応しています。「ズーム」とはウィンドウ内の倍率を変えることです。「Ctrl」キーを押しながらホイールを回転させると、ズームが簡単に行えます。
●「Ctrl」キーを押しながらホイールをモニター方向に回させると、倍率が上がります。
●「Ctrl」キーを押しながらホイールを手前方向に回転させると、倍率が下がります。

■800/1600カウント（カーソルスピード）切替
左ボタンと右ボタンを同時に長押しすると、分解能を800→1600→800カウントに切替えることができます。左ボタンと右ボタンを同時に3秒間長押ししてカウント切替LEDが2秒間ゆっくり点滅したら800カウント、はやく点滅したら1600カウントの設定になっています。

ドライバソフトの特長

〈Windows VIsta･XP･2000の場合〉

■ドライバソフトの設定画面を開く
画面右下のタスクトレイに表示されているスクロールマウスアイコンをダブルクリック、もしくは、「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」から「マウス」アイコンをダブルクリックすると、ドライバソフトの設定画面を開くことができます。

スクロールマウス
アイコン

■＜ボタン＞

●ボタン割り当て
ご使用するマウスの型番を選択してください。
ボタンをクリックすると画面に機能のリストが表示されるので、ここから任意の機能を選ぶことができます。
ショートカットキーなど、頻繁に使う機能を割り当てることができます。割り当てることが可能な機能は13ページの一覧をご覧ください。

ドライバソフトの特長（続き）

【ボタン割当て一覧】

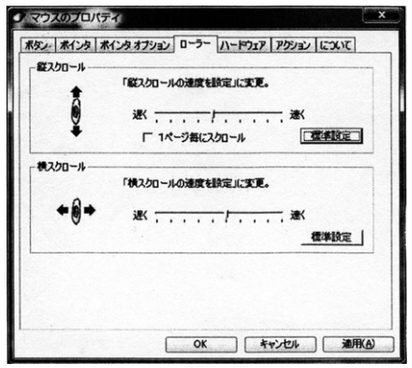
なし	貼り付け（Ctrl+V）	PageUp
左ボタン	片づける（Ctrl+W）	ズームイン/アウト
右ボタン	閉じる（Alt+F4）	デスクトップの表示
真中ボタン	Delキー	ホームページを開く
1ページ戻る	Enterキー	アプリケーションを￥実行する
1ページ進む	ESCキー	キー割り当て
ダブルクリック	Tabキー	キーマクロ
オートスクロール	Spaceキー	Click Lock
ファイルを開く（Ctrl+O）	Pauseキー	Flip 3D※1
切り取り（Ctrl+X）	Windowsキー	
コピー（Ctrl+C）	PageDown	

※1.Flip 3DはWindows Vistaのみでご使用になれます。

■<ポインタ>

●ポインタ
マウスポインタの形を変えることができます。

■<ローラー>



●縦スクロール
縦方向のスクロールスピードを調整できます。

●横スクロール
横方向のスクロールスピードを調整できます。

ドライバソフトの特長（続き）

■<アクション>

●ダブルクリックの速度
ダブルクリックを認識させる間隔を調整できます。速度を調整し、テストエリアにカーソルを移動してダブルクリックの調整を確認できます。

●クリックロック
左ボタンを一度クリックすれば、クリックしたままの状態でロックされます。
☑クリックロックを有効
にチェックを入れ、「設定」で一度クリックする際のクリックしている時間を調整します。時間を短くすると、クリックしている時間が短い間でクリックロックモードになります。

■<について>

●ドライバのバージョンを表示します。

〈Windows Me・98SE・98の場合〉

■ドライバソフトの設定画面を開く

画面右下のタスクトレイに表示されているスクロールマウスアイコンをダブルクリック、もしくは、「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」から「マウス」アイコンをダブルクリックすると、ドライバソフトの設定画面を開くことができます。

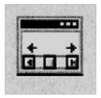
← スクロールマウスアイコン

← マウスアイコン

ドライバソフトの特長（続き）

■<マジックローラー>

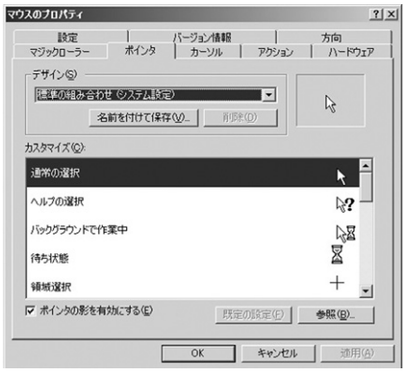
●垂直スクロール
垂直スクロールスピードを調節できます。



●水平スクロール
水平方向のスクロールスピードを調節できます。

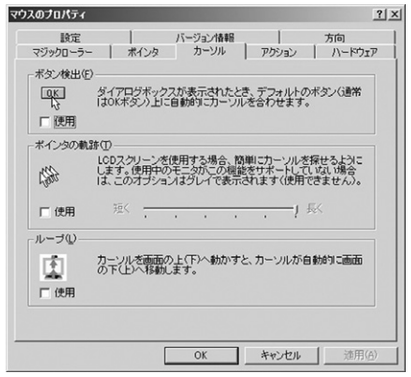
●ブラウズする方向
マジックローラーを前方（向こう）に回すとドキュメント先頭方向にスクロールします。逆転を選択すると逆方向にスクロールします。

■<ポインタ>



●ポインタ
マウスポインタの形を変えることができます。

■<カーソル>



●ボタン検出
ダイアログボックスが画面に表示されたとき、ポインタを自動的にボタンへ移動させます。

●ポインタの軌跡
移動残像を表示し、液晶画面でポインタを発見しやすくなります。
※この機能をサポートしていないモニタもあります。

●ループ
ポインタを画面の上端や下端まで移動させ、それ以上動かしたとき、画面の反対側にポインタが現れるようになります。

ドライバソフトの特長（続き）

■<アクション>

●マウスの速度
ポインタの移動スピードを調節できます。

●ダブルクリックの速度
ダブルクリックを認識させる間隔を調節できます。

●ボタンを逆転
左右のボタン機能を切替えます。

■<設定>

●ボタン割り当て
ショートカットキーなど、頻繁に使う機能を割り当てることができます。割り当てることが可能な機能は下の一覧をご覧ください。
イージージャンプ、オートパン、ズームなどの機能も記憶することができます。
ボタンをクリックすると画面に機能のリストが表示されるので、ここから任意の機能を選ぶことができます。

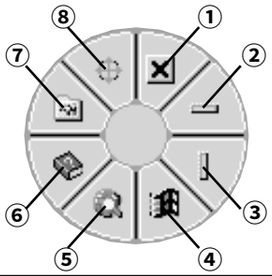
【ボタン割当て一覧】

左ボタン（メイン）	コピー（Ctrl+C）
右ボタン	コピー（Ctrl+Ins）
真ん中ボタン	Enter（復帰）
ダブルクリック	Esc（エスケープ）
EasyJump	エクスプローラ
ホームページ	PageDown
パン	PageUp
アプリケーションを実行する	貼り付け（Ctrl+V）
拡大鏡	貼り付け（Shift+Ins）
ズーム	実行
Alt	スタート
Ctrl	アプリケーション切替え
Shift	Tab
Arrow Down（↓キー）	元に戻す（Ctrl+BackSapce）
Arrow Up（↑キー）	元に戻す（Ctrl+Z）
Arrow Left（←キー）	検索ウィンドウ
Arrow Right（→キー）	ウィンドウヘルプ
切り取り（Ctrl+X）	戻るページ
切り取り（Shitt+Delete）	進むページ

ドライバソフトの特長（続き）

■ Easy Jump（イージージャンプ）の特長

イージージャンプで8つの特別な機能を簡単に選ぶことが可能になります。



① アプリケーションの終了。
② ポインタが水平スクロールバーに移動。
③ ポインタが垂直スクロールバーに移動。
④ スタートメニューを開く。
⑤ WWWブラウザを開く。
⑥ ヘルプメニューを開く。
⑦ スクロールマウスのコントロールパネルを開く。
⑧ オートパン:ボールを動かしただけで、その方向に画面がスクロールされる。

●アプリケーション:
右ボタンに設定すると、実行しているアプリケーションから他のアプリケーションに素早く切替えることができます。アプリケーションを選択する場合は右ボタンを押しながらホイールボタンを押してください。アプリケーション選択画面が表示され、簡単に選択できます。

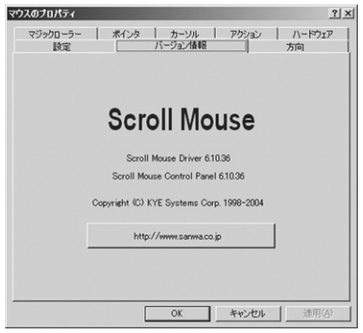
●ズーム:
Office97、Internet Explorerのズーム機能
Ctrlキーを押しながらホイールボタンを向こうへ回すと拡大、手前に回すと縮小されます。この機能は片手で使うことが出来ます。
右ボタンに「Ctrl」キーを割り当てると、右ボタンとホイールボタンの組み合わせで、画面の拡大縮小が簡単になります。

●パン:
ボールを動かしただけで、その方向に画面がスクロールされます。

■モード

「Office97モード」は、Microsoft Intelli Mouse同様の機能になり、「Scroll Mouseモード」は本製品特有の機能で、スクロールバーを持つアプリケーションをサポートしています。

■<バージョン情報>



●本ドライバのバージョンがわかります。

■<方向>

●方向の設定
トラックボールの方向（位置）調節ができます。

■ドライバソフトのアンインストール

●タスクトレイ（画面右下）のスクロールマウスアイコン を右クリックして表示されたメニューから「Scroll Mouseを閉じる」を選択し、本ドライバソフトを終了させます。
●スタート→「プログラム(P)」→「Scroll Mouse」の中から「Scroll Mouseのアンインストール」を実行してください。

「故障かな・・・と思ったら」

Q.マウス(マウスカーソル)が動かない。

A. 1.マウスに電池が正しく挿入されているか確認してください。マウスの電源がOFFになっていないか確認してください。(3ページ参照)
2.レシーバーが正しくUSBポートに接続されているか確認してください。（4ページ参照）
3.IDの設定（レシーバー及びマウス）が正しく行われているか確認してください。（6ページ参照）
4.付属の電池(アルカリ単四電池×2本)はテスト用です。マウスを動かした際、マウスの電池残量警告LEDが点灯している場合は電池が少なくなっていますので、新しい電池に交換してください。(3ページ参照)

Q.マウスをしばらく操作しないと、動かし始めた際に少し時間がかかる。

A. 本製品は、電池の消耗を押さえるため、しばらくマウス操作を行わないとスリープモードに入ります。マウスを動かすと復帰しますが、ほんの少し時間がかかります。はやく復帰させたい場合は、右ボタンなどをクリックしてからマウスを動かしてください。

Q.マウスカーソルやスクロールの動きがスムーズでない。

A. 1.光を反射する素材、ガラスなどの透明な素材の上や、規則正しいパターンの上でご使用の際は、トラッキング性能が低下しますので、避けてください。
2.金属面の上では、ワイヤレス信号が乱反射し、スムーズに動かない場合がありますので、厚みのある雑誌やマウスパッド等の上でご使用になってみてください。
3.他のワイヤレス機器と混信している場合がありますので、**IDの設定をやり直してみてください。**(6ページ参照)
4.ノートパソコンでご使用の際は、パソコンにあらかじめインストールされている内蔵ポインティングデバイス用のユーティリティと併用できませんので、確認してください。（7ページ参照)
5.マウスを動かした際、レシーバーのLEDが赤色に点滅もしくは点灯している場合は、電池が少なくなっていますので、新しい電池に交換してください。(4ページ参照)
6.レシーバーをパソコンの背面など見えにくい位置に接続している場合は、別売りの延長ケーブル（KU-EN1など）を使って、レシーバーを見える位置に出してください。

Q.Internet Explorerでスクロールがスムーズに動かない。

A. Internet Explorerを起動し、「ツール」→「インターネットオプション」→「詳細設定」で「スムーズスクロールを使用する」のチェックをはずしてください。

Q.Windowsのディスプレイモードに出ているトゥルーカラーを選択するとスクロールの動きがおかしくなった。

A. 1.ハイカラーモードを選択してください。
2.トゥルーハイカラーでは、CPUからデータを伝えるのに時間がかかります。このため、スピードコントロールの動きが遅くなるのです。